

## 第6次長期総合計画の策定に関する意見への回答

### 「角田市第6次長期総合計画」の策定に関する意見書

募集期間：令和2年11月26日（木）～令和2年12月25日（金）

（郵送の場合は令和2年12月25日（金）必着）

提出方法：提出先への書面持参（代理可）、郵便、ファクシミリ、電子メール

提出先：角田市総務部企画財政課企画調整係（土日祝日は閉庁日です。）

（問合せ先） 住所 〒981-1592 角田市角田字大坊41

電話 0224-63-2113（電話での意見提出はできません。）

FAX 0224-62-4829

E-mail kikaku-zaisei@city.kakuda.lg.jp

- 留意事項：（1）寄せられた意見の内容は、総合計画の策定に向けた審議を行うための参考資料として、次回開催予定の角田市長期総合計画審議会において報告します。
- （2）審議会への報告後、意見の概要及びそれに対する市または審議会の考え方を市ホームページ上で公表します。ただし、住所、氏名など、個人が特定され得る情報の公表はいたしません。

#### （意見及びその理由）

角田市に限らず、コロナ感染拡大の影響もあり殆どの自治体の人口が急減していくのが明らかなため、人口増加・維持を前提とした活性化を目的に、従来 of 常識に沿って税金を投入する事業はほぼ停滞しています。人口急減社会を迎える今、地方を活性化させるためには、他と異なることに取り組み需要を開拓することが求められます。そのためには、立派な施設などに頼らず補助金に依存しないで民間が自主的に知恵を出して、民間主導で市場経済のルールにのっとり稼いでいくことではないでしょうか。

地域に魅力的で生産性の高い働き口があり、ひとり一人の所得を向上できれば若者をはじめとした人口の流出を緩和できる筈です。角田市には豊かな自然と肥沃な土地を活用した農業関連産業を高付加価値化できる素地があります。今後、IoT化や地方移住が進展し農業関連産業を志す働き手が増えてくることが期待されます。

計画策定にコンサルタント等の専門家を活用するのは結構ですが、美辞麗句を並べた文言ではなく、市民に分かりやすく納得でき実効性がある角田市のビジョンやプランニングを手作りで策定することが必要と思います。

**(意見に対する市または審議会の考え方等)**

貴重なご意見をいただき誠にありがとうございます。

本市の第6次長期総合計画の策定におきましては、現在、角田市長から長期総合計画審議会(以下「審議会」という。)に対し諮問を行い、角田市のこれからの都市像について議論を進めている段階です。

まず、「地域活性化のための方策として、民間が補助金や立派な施設に頼らずに自主的に知恵を出し合い市場経済のルールに則り稼いでいくこと」について、非常に重要な視点であり、本市においても、厳しい財政状況を踏まえ、民間でできるものは民間の力を活用する方針としております。また、1月から2月にかけて、市民や市内在勤者等による角田市の将来像を自由に議論するワークショップを開催するなど、市民一人ひとりが考え、市民力を発揮できる環境づくりを進めているところであり、ご指摘のような視点について、第6次長期総合計画の策定においても意識的に取り組まなければならないと考えております。

また、「生産性の高い働き口」「ひとり一人の所得の向上」「農業関連産業の高付加価値化」についても、非常に重要な視点であり、現在、企業誘致の推進に向けた体制を整え、今後の方針について検討を進めている状況です。農業をはじめとする地域産業の振興に関する施策についても、新型コロナウイルス感染症の影響も十分に考慮しつつ、今後の展開について、第6次長期総合計画に位置付けていきたいと考えております。

第6次長期総合計画の策定にあたっては、コンサルタント会社と策定支援業務契約を締結しておりますが、コンサルタント業者は、市民意向調査や市の基礎データ等のとりまとめやワークショップ開催支援などを担っているもので、コンサルタント業者自らが策定作業を先導するものではございません。第6次長期総合計画の策定にあたっては、市民アンケートの実施やワークショップを開催するなど、市民力を活かした計画策定を心がけております。本計画の中においても「市民力の醸成」を図ることについて、明確な位置づけを行うとともに、策定後も市民の皆様と共有できるわかりやすい計画にしていきたいと考えております。